



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年9月24日

上場会社名 株式会社セキチュー 上場取引所 東
 コード番号 9976 URL <http://www.sekichu.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長 取締役執行役員（氏名） 関口 忠弘
 問合せ先責任者（役職名） 経営企画室長 兼管理部長（氏名） 銅島 賢 (TEL) 027(345)1111
 半期報告書提出予定日 2025年9月25日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の業績（2025年2月21日～2025年8月20日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	16,094	2.8	523	22.7	530	17.0	328	△6.7
2025年2月期中間期	15,653	1.7	426	△29.7	453	△29.1	351	△20.3
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
		円 銭		円 銭				
2026年2月期中間期		60.08		—				
2025年2月期中間期		65.33		—				

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	23,884	11,828	49.5
2025年2月期	23,515	11,532	49.0

(参考) 自己資本 2026年2月期中間期 11,828百万円 2025年2月期 11,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年2月期	—	0.00			
2026年2月期(予想)			—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2025年2月期期末配当金の内訳 記念配当 20円00銭

3. 2026年2月期の業績予想（2025年2月21日～2026年2月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△4.7	500	△15.1	550	△11.1	350	△29.2	64.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年2月期中間期	5,586,150株	2025年2月期	5,586,150株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年2月期中間期	42,332株	2025年2月期	127,552株
-------------	---------	----------	----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年2月期中間期	5,460,395株	2025年2月期中間期	5,385,958株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の関税政策や中国経済の先行き懸念、物価上昇の継続による個人消費の減速懸念等、先行きは不透明な状態が続いております。

ホームセンター業界におきましては、依然として激しい競争環境の中、物価上昇を背景とした商品仕入れ価格の高騰、販売費及び一般管理費の増加等があり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社は、ホームセンター事業に参入してから、2025年で50周年を迎えることとなり、**<「感謝」～これまでに感謝。これからの感謝～>**を当事業年度のテーマに掲げました。地域のお客様やお取引先、株主様、従業員の皆様に感謝を伝える1年にしたいと考え、地域貢献事業や周年セール等を実施するとともに、これからも地域のお客様に支持していただける品揃えとサービスを提供できるよう、全従業員一丸となって取り組んでまいります。

当中間会計期間におきましては、営業収益はリフォーム部門や食料品部門等の売上が好調に推移し、またテナント誘致により不動産賃貸収入が増加した結果、前年同期を上回りました。営業利益、経常利益については、人件費等の販売費及び一般管理費が増加しましたが、営業総利益の増加でこれを吸収し前年同期を上回りました。中間純利益については、賃貸借契約解除に伴う差入保証金放棄額を特別損失に計上した結果、前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、当中間会計期間の営業収益は160億9千4百万円(前年同期比2.8%増)となりました。営業利益は5億2千3百万円(同22.7%増)、経常利益は5億3千万円(同17.0%増)、中間純利益は3億2千8百万円(同6.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べ4億2千1百万円増加し、102億7千8百万円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産が3億2千7百万円、棚卸資産が1億4千3百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末と比べ5千2百万円減少し、136億6百万円となりました。これは主に、投資有価証券が1億5千8百万円増加しましたが、差入保証金が1億4千9百万円、有形固定資産が主に減価償却により6千1百万円減少したこと等によります。

この結果、資産合計は、前事業年度末と比べて3億6千9百万円増加し、238億8千4百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べ4億4百万円増加し、74億8千5百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加しましたが、買掛金が2億4千7百万円、未払法人税等が1億3千6百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末と比べ3億3千2百万円減少し、45億7千万円となりました。これは主に、長期借入金が増加しましたが、3億2千1百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比べて7千2百万円増加し、120億5千5百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べ2億9千6百万円増加し、118億2千8百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億9百万円、その他有価証券評価差額金が1億3百万円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ7千6百万円減少し8億7千2百万円となりました。当中間会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、6億6千3百万円(前中間会計期間は、3億6千7百万円の獲得)となりました。これは主に、売上債権及び契約資産の増加額が3億2千7百万円、棚卸資産の増加額が1億4千3百万円ありましたが、税引前中間純利益が4億7千3百万円、減価償却費が2億2千4百万円あったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7千8百万円(前中間会計期間は、13億1千3百万円の使用)となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入が9千7百万円ありましたが、有形固定資産の取得による支出が1億5千9百万円あったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億6千1百万円(前中間会計期間は、9億4千1百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の純減額が2億円、長期借入金の返済による支出が3億2千6百万円、配当金の支払額が2億1千8百万円あったこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期通期の業績予想については、2025年3月26日に公表した2026年2月期決算短信の業績予想から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年2月20日)	当中間会計期間 (2025年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	949,261	872,351
売掛金及び契約資産	995,831	1,322,908
棚卸資産	7,503,295	7,647,194
その他	407,995	435,669
流動資産合計	9,856,383	10,278,123
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,238,655	4,132,729
土地	4,431,766	4,546,618
その他(純額)	818,315	747,677
有形固定資産合計	9,488,737	9,427,026
無形固定資産	335,400	307,271
投資その他の資産		
差入保証金	2,727,388	2,577,917
その他	1,107,906	1,294,605
投資その他の資産合計	3,835,294	3,872,523
固定資産合計	13,659,432	13,606,820
資産合計	23,515,815	23,884,944
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,522,466	4,769,549
短期借入金	600,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	657,156	652,404
未払法人税等	87,878	224,760
賞与引当金	87,175	90,000
契約負債	341,715	413,190
その他	784,066	935,141
流動負債合計	7,080,458	7,485,046
固定負債		
長期借入金	3,155,569	2,834,119
受入保証金	1,239,652	1,229,380
役員退職慰労引当金	53,453	53,453
資産除去債務	329,168	332,176
その他	125,181	121,798
固定負債合計	4,903,025	4,570,927
負債合計	11,983,483	12,055,973

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年2月20日)	当中間会計期間 (2025年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,921,525	2,921,525
資本剰余金	3,571,375	3,566,801
利益剰余金	4,891,357	5,001,113
自己株式	△131,209	△43,545
株主資本合計	11,253,050	11,445,895
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	279,281	383,075
評価・換算差額等合計	279,281	383,075
純資産合計	11,532,331	11,828,971
負債純資産合計	23,515,815	23,884,944

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年8月20日)	当中間会計期間 (自 2025年2月21日 至 2025年8月20日)
売上高	15,319,352	15,674,349
売上原価	10,840,971	11,143,103
売上総利益	4,478,380	4,531,245
営業収入		
不動産賃貸収入	334,389	420,241
営業総利益	4,812,769	4,951,487
販売費及び一般管理費	4,386,196	4,427,875
営業利益	426,572	523,612
営業外収益		
受取利息	7,614	6,988
受取配当金	7,832	10,625
受取手数料	5,590	5,628
受取保険金	1,849	519
社宅家賃収入	4,541	5,114
その他	5,100	4,116
営業外収益合計	32,528	32,994
営業外費用		
支払利息	5,497	25,249
固定資産除却損	208	805
その他	167	156
営業外費用合計	5,873	26,211
経常利益	453,227	530,395
特別利益		
資産除去債務戻入益	35,679	—
特別利益合計	35,679	—
特別損失		
差入保証金放棄損	—	57,000
特別損失合計	—	57,000
税引前中間純利益	488,907	473,395
法人税、住民税及び事業税	139,200	174,662
法人税等調整額	△2,139	△29,367
法人税等合計	137,060	145,295
中間純利益	351,846	328,100

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年8月20日)	当中間会計期間 (自 2025年2月21日 至 2025年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	488,907	473,395
減価償却費	198,838	224,276
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,698	2,825
契約負債の増減額(△は減少)	98,354	71,475
受取利息及び受取配当金	△15,446	△17,614
支払利息	5,497	25,249
固定資産除却損	208	805
差入保証金放棄損	—	57,000
受取保険金	△1,849	△519
資産除去債務戻入益	△35,679	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△224,607	△327,076
棚卸資産の増減額(△は増加)	△163,169	△143,899
仕入債務の増減額(△は減少)	99,945	247,082
未払消費税等の増減額(△は減少)	104,743	188,647
その他	△66,098	△91,178
小計	495,341	710,467
利息及び配当金の受取額	9,557	10,979
利息の支払額	△5,497	△19,033
保険金の受取額	1,849	519
法人税等の支払額	△133,791	△39,678
営業活動によるキャッシュ・フロー	367,459	663,253
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,147,709	△159,501
無形固定資産の取得による支出	△44,888	—
有形固定資産の売却による収入	1,448	—
投資有価証券の取得による支出	△3,392	△1,798
投資有価証券の売却による収入	—	715
貸付金の回収による収入	990	990
差入保証金の回収による収入	257,479	97,601
差入保証金の差入による支出	△4,726	△0
預り保証金の返還による支出	△1,560	△25,704
預り保証金の受入による収入	628,620	9,216
その他	△2	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,313,740	△78,482
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,400,000	△200,000
長期借入れによる収入	2,600,000	—
長期借入金の返済による支出	△96,699	△326,202
自己株式の処分による収入	—	83,089
配当金の支払額	△161,576	△218,568
財務活動によるキャッシュ・フロー	941,724	△661,681
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,555	△76,909
現金及び現金同等物の期首残高	884,159	949,261
現金及び現金同等物の中間期末残高	879,604	872,351

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2024年2月21日 至 2024年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ホームセンター事業	不動産賃貸事業	
売上高			
D I Y用品	8,242,113	—	8,242,113
家庭用品	4,245,923	—	4,245,923
カー用品・自転車・ レジャー用品	2,489,976	—	2,489,976
その他(注1)	341,339	—	341,339
顧客からの契約から生じる収益	15,319,352	—	15,319,352
その他の収益(注2)	—	334,389	334,389
外部顧客への売上高及び営業収入	15,319,352	334,389	15,653,741
計	15,319,352	334,389	15,653,741
セグメント利益(注3)	276,786	149,786	426,572

(注) 1 「その他」の内訳は、店舗手数料収入、請負工事収入等であります。

2 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。

3 セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間会計期間(自 2025年2月21日 至 2025年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ホームセンター事業	不動産賃貸事業	
売上高			
D I Y用品	8,168,574	—	8,168,574
家庭用品	4,274,168	—	4,274,168
カー用品・自転車・ レジャー用品	2,575,226	—	2,575,226
その他(注1)	656,379	—	656,379
顧客からの契約から生じる収益	15,674,349	—	15,674,349
その他の収益(注2)	—	420,241	420,241
外部顧客への売上高及び営業収入	15,674,349	420,241	16,094,591
計	15,674,349	420,241	16,094,591
セグメント利益(注3)	301,201	222,410	523,612

(注) 1 「その他」の内訳は、店舗手数料収入、請負工事収入等であります。

2 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。

3 セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。